



イメージキャラクター やっち

八千代市子ども・子育て支援に関する アンケート（ニーズ調査）修正案

調査ご協力のお願い

日頃より市政にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施するための準備を進めております（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、本市の子ども・子育て支援事業計画策定のための重要な基礎資料といたします。ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答するに当たってお読みください

調査票は無記名でご回答ください。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ1月31日（金）までにポストに投函してください。**

＜本調査に関する問い合わせ先＞

八千代市 子ども部 元気子ども課

電話：047-483-1151（内線2261）

E-mail：genki1@city.yachiyo.chiba.jp

○調査の対象は、「あて名のお子さん」です。他にきょうだいがいらしても「あて名のお子さん」を対象にご回答ください。ご記入は、黒や青のボールペンや鉛筆など濃い色の筆記具で、はっきりとお書きください。

◇〈お住まいの地区〉についてうかがいます◇

問1 お住まいの地区に当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 阿蘇地区 [米本・神野・保品・下高野・米本団地・堀の内・上高野の一部(阿蘇中の学区内にある上高野)]
2. 村上地区
[村上・下市場・村上団地・村上南・勝田台北・上高野の一部(村上東中の学区内にある上高野)]
3. 睦地区 [桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・佐山・平戸・島田台・大学町・尾崎]
4. 大和田地区
[大和田・萱田・萱田町・ゆりのき台・大和田新田の一部(萱田中・大和田中の学区内にある大和田新田)]
5. 高津・緑が丘地区
[高津・高津東・緑が丘・高津団地・大和田新田の一部(高津中・東高津中の学区内にある大和田新田)]
6. 八千代台地区 [八千代台東・八千代台南・八千代台西・八千代台北]
7. 勝田台地区 [勝田台・勝田・勝田台南]

◇封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます◇

問2 あて名のお子さんの学年をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

小学 年生

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。二人以上の場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご記入されている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。※ご両親で話し合いながらご回答されている場合でも、ご記入されている方についてお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

◇子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます◇

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問7-1へ 2. いない/ない ⇒ 問7-2へ



問7-1 問7で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 (子どもの友達の保護者、仕事の同僚など) |
| 3. 近所の人 | 4. 学校教諭 |
| 5. 学童指導員 | 6. 習い事の先生 (水泳・ピアノなどの教室) |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 市の子育て関連担当窓口 | 10. 保健センター |
| 11. その他 () | |



問7-2 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の先輩ママ(先輩パパ)に妊娠中の不安や子育ての悩みを聞いてもらえるようなところ
2. 妊娠中からの仲間づくりや、出産前からのサポート
3. 乳幼児期の子育てについての講座や親子で参加する催しの開催
4. 父親の仲間作りや情報交換の場などのサポート
5. 子育て中の親がリフレッシュできる機会の提供
6. 育児疲れ・子の看護疲れなどに対応してくれるサポート
7. 保護者の通院や入院、保護者が携わる介護などに対応してくるサポート
8. きょうだいが病気・けがの時、きょうだいの行事・参観等に乳幼児の世話や幼稚園・保育園の送迎時に対応してくれるサポート
9. ふたごや年子などの子育てや移動などのサポート
10. 夜間、早朝など不規則な仕事時間に対応してくれるサポート
11. 美容院や銀行・役所等での所用など数時間の外出に対応してくれるサポート
12. 特になし
13. その他 ()

◇あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます◇

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親・父親それぞれに当てはまる番号1つに○をつけてください。※雇用形態ではなく、1日の労働時間でお答えください。

(1) 母親		(2) 父親	
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	問 11 へ	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	問 11 へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	問 9 へ	2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である	問 9 へ
3. パートタイム等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	問 10 へ	3. パートタイム等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	問 10 へ
4. パートタイム等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	問 9 へ	4. パートタイム等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である	問 9 へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	問 10 へ	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	問 10 へ
6. これまで就労したことがない	問 9 へ	6. これまで就労したことがない	問 9 へ

問9 問8で「3・4」(パートタイム等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 10 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パートタイム等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望	3. パートタイム等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望
4. パートタイム等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい	4. パートタイム等 (「フルタイム」以外) をやめて子育てや家事に専念したい

問 10 問8で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号 それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム等 (「ア」以外)	イ. パートタイム等 (「ア」以外)
→1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	→1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

問 11 あて名のお子さんの母親にうかがいます。父子家庭の場合は、問 12 にお進みください。お子さんの出産前後それぞれ1年以内の就労状況について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 離職した (出産後1年以内に再就職した場合は2を選択してください。) ⇒ 問 11-1 へ
2. 就労していた (育休を取得した場合及び再就職した場合を含む。) ⇒ 問 12 へ
3. 出産の1年以上前から働いていなかった ⇒ 問 12 へ

問 11-1 「問 11」で、「1. 離職した」を選択された方にうかがいます。離職した理由として最も当てはまる理由の番号 1つに○をつけてください。

1. 保育サービスが利用できる見込みがなかった 2. 職場において育児休業を取得する環境になかった 3. 上記 1 と 2 の両方の理由から離職した 4. 仕事を続けることへの親族の理解が得られなかった 5. 子育てに専念したかった 6. その他 ()
--

◇あて名のお子さんの、放課後などの過ごし方についてうかがいます◇

問 12 あて名のお子さんが、小学校 1 年生から 3 年生の方にうかがいます。あて名のお子さんは放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号 すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を 数字でご記入ください。

また、学童保育の場合には、利用を希望している時間も口内に 数字でご記入ください。時間は必ず(例)18 時のように 24 時間制で 30 分未満は切り捨て・30 分以上は切り上げてご記入ください(数字は一枠に一字)。

※あて名のお子さんが小学校 4 年生の方は、問 13 にお進みください。

放課後の居場所（当てはまる番号すべてに○）	過ごしている日数
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室（現在は村上北小学校、八千代台西小学校で実施）	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 市の学童保育所（民間保育園などに委託しているものを含む）	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 認可外保育施設、私立幼稚園及び認定こども園が実施している学童保育	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 児童会館、公民館、公園	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（具体的に：)	週 <input type="text"/> 日くらい

問13 あて名のお子さんが、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。なお、「5.」もしくは「6.」に○をつけた場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制で30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げてご記入ください(数字は一枠に一字)。

※あて名のお子さんが小学校4年生の方は、これからの過ごさせ方についてご記入ください。

放課後の居場所 (当てはまる番号すべてに○)	過ごさせたい日数
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 市の学童保育所 (民間保育園などに委託しているものを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 認可外保育施設、私立幼稚園及び認定こども園が実施している学童保育	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 児童会館、公民館、公園	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他 (具体的に:)	週 <input type="text"/> 日くらい

問14 問12または問13で「5. 市の学童保育所(民間保育園などに委託しているものを含む)」または「6. 認可外保育施設及び私立幼稚園、認定こども園が実施している学童保育」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～17時のように24時間制で30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げてご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1)土曜日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

(2)日曜・祝日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問15 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～17時のように24時間制で30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げてご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯							
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□	□	時	から	□	□	時	まで
3. 利用する必要はない									

◇あて名のお子さんの地域の子育て支援事業等の利用状況についてうかがいます◇

問16 あて名のおさんは、次の「1.」から「5.」までの地域の子育て支援事業等を利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。事業ごとに、「1 はい」、「2 いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	これまでに 利用したことがある		今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. ファミリー・サポート・センター事業	1	2	1	2
2. 病児・病後児の保育	1	2	1	2
3. 八千代市の情報・相談サービス (インターネット、電話、広報)	1	2	1	2
4. 公民館の夏休み子ども教室	1	2	1	2
5. 放課後子ども教室「新川わくわくプレーパーク」	1	2	1	2

◇あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます◇

問17 この1年間に、あて名のおさんが病気やけがで学校を欠席したり、学童保育所の利用ができなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問17-1 へ	2. なかった ⇒ 問18 へ
------------------	-----------------



問 17-1 あて名のお子さんが病気やけがで学校を欠席したり、学童保育所の利用ができなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	問 17-2 へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. 父親が職場・仕事場へ連れて行った	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	問 18 へ
4. 母親が職場・仕事場へ連れて行った	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
8. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
9. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
10. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
11. その他 ()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用したいとは思わない

問 18 あて名のお子さんのかかりつけの小児科医はいますか。「1 はい」、「2 いいえ」のいずれかに○をつけてください。(かかりつけの小児科医とは、健康診査、予防接種及び風邪をひいたときなどの診療を受けている医師が同一の場合の当該医師をいいます。)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

◇あて名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます◇

問 19 あて名のお子さんについて、通学等や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

利用している事業	日数(年間)
1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□□ 日
2. ベビーシッター	□□ 日
3. その他 ()	□□ 日
4. 利用していない	

問 20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計日数	□□ 日
	1年あたりの日数	1回あたりの時間
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□□ 日	□□ 時間
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	□□ 日	□□ 時間
ウ. 不規則の就労	□□ 日	□□ 時間
エ. 育児疲れ・子の看護疲れ	□□ 日	□□ 時間
オ. その他 ()	□□ 日	□□ 時間
2. 利用する必要はない	/	

問 21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 同居者を含む親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□□ 泊
	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	オ. その他 ()	□□ 泊
2. なかった		

問 21-1 **保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)**により、あて名のお子さんを**泊りがけ**で家族以外にみてもらわなければならない場合、どのような対処方法を望みますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | |
|--|
| 1. 同居者を含む親族・知人にみてもらいたい |
| 2. 短期入所生活援助事業を利用したい |
| 3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用したい |
| 4. 対処は必要ない |
| 5. その他（
） |

◇育児休業の取得状況についてうかがいます◇

問 22 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

母親（当てはまる番号1つに○）	父親（当てはまる番号1つに○）
1. 取得した	1. 取得した
2. 取得していない ⇒ 問 22-8 へ	2. 取得していない ⇒ 問 22-8 へ
3. もともと就労していなかった ⇒ 問 23 へ	3. もともと就労していなかった ⇒ 問 23 へ

問 22-1 **問 22**で「1. 取得した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親・父親それぞれについて、当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

母親（当てはまる番号1つに○）	父親（当てはまる番号1つに○）
1. 取得後、職場復帰した	1. 取得後、職場復帰した
2. 育児休業中に離職した ⇒ 問 23 へ	2. 育児休業中に離職した ⇒ 問 23 へ

問22-2 **問22-1**で、「1. 取得後、職場復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親・父親それぞれについて、当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親（当てはまる番号1つに○）	父親（当てはまる番号1つに○）
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. 特に合わせていない	2. 特に合わせていない

問 22-3 問 22-1 で、「1. 取得後、職場復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親・父親それぞれについて□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
復帰の時期： □ 歳 □ □ か月のとき	復帰の時期： □ 歳 □ □ か月のとき
希 望： □ 歳 □ □ か月まで	希 望： □ 歳 □ □ か月まで

問 22-4 問 22-3 で「復帰の時期」が「希望」よりも早かった方にうかがいます。希望より早く復帰された理由を、母親・父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親 (当てはまる番号すべてに○)	父親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 希望する保育園等への入園のため	1. 希望する保育園等への入園のため
2. 配偶者や家族の希望	2. 配偶者や家族の希望
3. 経済的な理由	3. 経済的な理由
4. 人事異動の時期や仕事の節目だった	4. 人事異動の時期や仕事の節目だった
5. その他 ()	5. その他 ()

問 22-5 問 22-3 で「復帰の時期」が「希望」よりも遅かった方にうかがいます。希望より復帰が遅くなった理由を、母親・父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親 (当てはまる番号すべてに○)	父親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 希望する保育園等に入れなかった	1. 希望する保育園等に入れなかった
2. 自分や子どもなどの体調不良	2. 自分や子どもなどの体調不良
3. 配偶者や家族の希望	3. 配偶者や家族の希望
4. 職場の受入れ態勢の問題	4. 職場の受入れ態勢の問題
5. 子どもをみてくれる人がいなかった	5. 子どもをみてくれる人がいなかった
6. その他 ()	6. その他 ()

問 22-6 問 22 で「1. 取得した」に○をつけた方にうかがいます。もし、あて名のお子さんが1歳になるまでに必ず預けられる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得されましたか。または、預けられる保育園等があっても1歳になる前に復帰されましたか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親 (当てはまる番号1つに○)	父親 (当てはまる番号1つに○)
1. 1歳になるまで育児休業を取得した	1. 1歳になるまで育児休業を取得した
2. 1歳になる前に職場復帰した	2. 1歳になる前に職場復帰した

問 22-7 問 22-1 で、「1. 取得後、職場復帰した」に○をつけた方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親・父親それぞれについて□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
□ 歳 □ □ か月まで	□ 歳 □ □ か月まで

問 22-8 問 22 で、「2. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

母親・父親それぞれについて、その理由をお聞かせください。(当てはまる番号すべてに○)

母親	父親	
1	1	1. 職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) <u>仕事に</u> 早く復帰したかった 4. <u>仕事に</u> 復帰するのが難しくなりそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入が減り、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業を取得した 9. 配偶者が就労していない、親族にみてもらえるなど、育児休業を取得する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. <u>職場に</u> 育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した 15. その他
2	2	
3	3	
4	4	
5	5	
6	6	
7	7	
8	8	
9	9	
10	10	
11	11	
12	12	
13	13	
14	14	
15	15	

◇すべての方に、八千代市の子育て環境や支援についてうかがいます◇

問 23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い		ふつう		満足度が高い
1	2	3	4	5

最後に、八千代市の子育て支援についてご意見がありましたらご自由にお書きください。

お忙しいところ調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ
1月31日(金)までにポストにご投函ください。



別紙 就学児童

用語の定義などについては、こちらをみながら回答してください。*この用紙は返送不要です。

全体

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・子育て:教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
- ・教育:問11までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては学校における教育の意味で用いています。

問12・問13に出てくる事業の内容

放課後子ども教室（学校型）	放課後や週末等に小学校で自主的な遊びや学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組であり、在籍校のすべての児童が利用できる。利用時間は原則として放課後から17時までとし、児童を見守る安全管理委員を配置して実施している。八千代市では、現在、小学校2校で実施。
市の学童保育所（民間保育園などに委託しているものを含む） 八千代市では、現在 22 施設	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供する施設。事業の利用にあたっては、一定の利用料金がかかる（平成25年11月現在、月額10,000円）
認可外保育施設及び私立幼稚園、認定こども園等が実施している学童保育	上記の同様の機能を認可外保育施設、幼稚園、認定こども園が実施するもの。事業の利用にあたっては、一定の利用料金がかかる（利用料金は各施設により異なる）

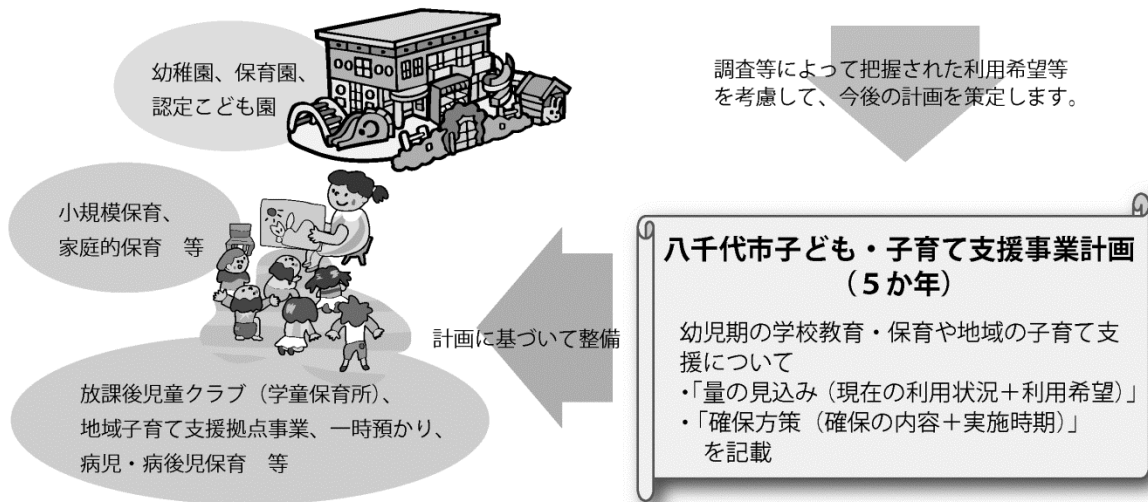
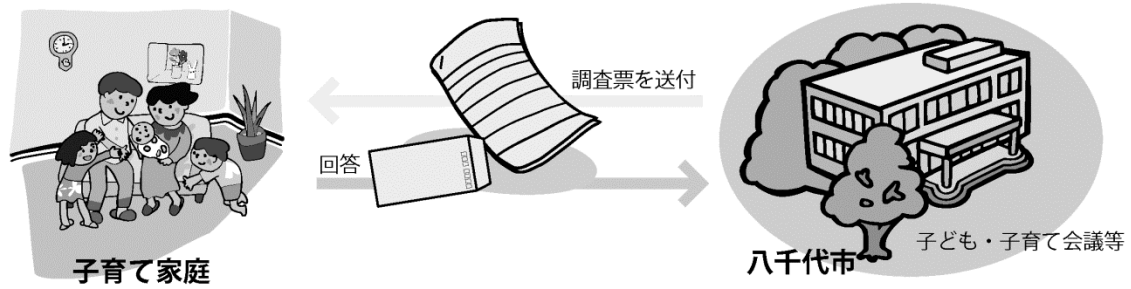
問16に出てくる事業の内容

ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業。育児の応援を依頼したい人と応援できる地域住民が会員登録をして保育所や幼稚園の送迎等の相互援助を行う制度。利用する曜日及び時間帯により利用料金は異なる（1時間500円～900円）
病児・病後児保育	保育園・学童保育所に通っている子どもが病気で、保護者が看護できないときに一時的に預かる制度。 事業の利用にあたっては、一定の利用料金がかかる（1日2,000円）
放課後子ども教室「新川わくわくプレーパーク」	自然林等を活用して遊ぶことができる場所。開催時間は原則として土曜日・日曜日の10時から16時まで。児童を見守る安全管理委員を配置して実施している。

問21-1に出てくる事業の内容

短期入所生活援助事業(ショートステイ) 【八千代市では現在、未実施】	児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業。年齢区分及び保護者の所得に応じて利用料金が異なる。
---------------------------------------	---

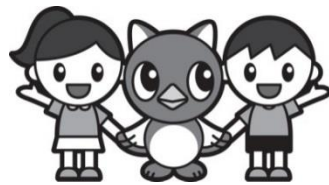
いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます。



本調査に関わるお問い合わせは下記までご連絡ください。

●お問い合わせ先● 八千代市 子ども部 元気子ども課

電話:047-483-1151(内線 2261)



イメージキャラクター やっち